

令和7年度 自己評価シート【向原住区センター児童館】

1、福祉サービスの基本方針と組織

1－1 理念・基本方針

1－1－（1） 理念、基本方針が明文化（児童館内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等））され周知が図られている。	
【判断基準】 (a) 児童館の理念、基本方針が適切に明文化されており、職員、利用者等への周知が図られている。 (b) 児童館の理念、基本方針が明文化されているが、内容や周知が十分ではない。 (c) 児童館の理念、基本方針の明文化や職員、利用者等への周知がされていない。	
【自己評価】	実践例（取組や記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館の理念は、近隣小中学校の挨拶や地域懇談会開催の際に、伝わりやすくするために資料をコンパクトにまとめ、周知した。日常的には、向原住区住民会議常任委員会の中で児童館（併設学童保育クラブを含む）の子どもたちの活動の様子を伝えている。初めての来館者には、児童館活動のお知らせやパンフレットなどを見せながら、児童館事業について知らせている。
1－1－（2） 理念、基本方針の確立・周知について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
来館者や地域の方に対して、児童館の理念や基本方針を伝えることができている。特に主任児童委員や民生児童委員の方には、児童館活動に参加してもらい、理解を深めてもらっている。 児童館のお知らせでは、子どもたちが楽しく過ごしている様子を記載している。	児童館の案内（「みんな、おいでよ！むかいはらじどうかん」などのお知らせ）では、児童館の理念や基本方針に関する文章を分かりやすい表現で載せているが、保護者向けの文章記載の検討を行っていく。

2、児童館の活動に関する事項

2－1 児童館の理念・目的及び施設特性

2－1－（1） 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。	
【判断基準】 (a) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいる。 (b) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理念や基本方針等に盛り込んでいるが、十分ではない。 (c) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の理念と目的を、自館の基本理	

念や基本方針等に盛り込んでいない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館ガイドラインや目黒区児童館運営指針の理念や目的について確認をし、児童館年間事業方針を定めている。その年度の子どもたちの現状に即した内容になるよう、意識している。
2-1-(2) 児童館ガイドライン、目黒区児童館運営指針に示された児童館の施設特性を発揮している。	
【判断基準】 (a) 児童館の施設特性を発揮している。 (b) 児童館の施設特性を発揮しているが、十分ではない。 (c) 児童館の施設特性を発揮していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日常の運営の中で子ども会議を実施し、また行事のスタッフ会議を行った。子どもたちの声、やりたい遊びを聞き、それを児童館の活動や運営に取り入れている。子どもたちのやりたいことができる、子どもたちにとってまた行きたいと思えるような心地よい居場所となるように、図書室・音楽室・プレイルーム・図工室・幼児遊戯室の部屋機能を生かした工夫をしている。
2-1-(3) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	
【判断基準】 (a) 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。 (b) - (c) 子どもの権利擁護に関する取組が十分ではない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日々の子どもたちの関わりの中で、子どもたちが話している内容や家庭環境の変化などで、職員が気になった場合には職員間で情報共有している。外国籍の乳幼児親子や小学生の利用があるが、職員はもちろんのこと、子どもたち同士もお互いを認め合いながら、一緒に遊び援助する場面がある。子どもたち同士のトラブルの場合は、双方の話を聞き、お互いの気持ちを伝え合うようにし、丁寧に対応している。
2-1-(4) 児童館の理念・目的及び施設特性について	
良いと思う点	改善が必要だと思う点
利用者が安心・安全に楽しく過ごし、利用者が困っている時には、職員が気持ちに寄り添いながら対応している。ありのままの姿や思いを職員が受けとめることで、信頼関係を作っている。また、乳幼児保護者の子育ての悩みにも寄り添いなが	子育てと子育ちを地域全体で支えるために、地域の方や保護者と、さらにつながっていく方法を模索していく。

ら対応している。 地域の方は日常的に関わり、児童館事業を理解してくださっている。	
---	--

2-2 遊びによる子どもの育成

2-2-(1)

子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。

【判断基準】

- (a) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている。
- (b) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っているが、十分ではない。
- (c) 子どもの発達の特徴や発達過程を理解していない。

【自己評価】 実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	日々の打ち合わせにおいて、子どもたちの遊びや言動、気になる子どもの姿について職員間で共有している。共有することで、職員で統一した関わりをしていき、子どもたちの成長につなげている。子どもたちの姿に合わせた遊びの展開ができるように工夫している。
--	--

2-2-(2)

子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。

【判断基準】

- (a) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている。
- (b) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしているが、十分ではない。
- (c) 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしていない。

【自己評価】 実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	児童館では自由遊びを大事にし、プレイルームでは集まったメンバーで遊びの内容を相談している。違う意見が出た時には話し合ったり、子どもたち同士で折り合いをつけたりする経験を大切にしている。 子ども会議を実施し、児童館で遊びたい内容について聞くと、ドッジボール、サッカー、一輪車、アイロンビーズなどといった意見が出たので、日常の児童館運営へ反映させた。 図工室では子どもたちがイメージ豊かに工作できるよう、職員が材料を揃え働きかけている。 向原ふれあいまつりでは、子どもスタッフを募集し、子どもたちのやってみたいゲーム（射的、クレーンゲーム、コイン落としなど）に取り組み、実現することができた。
--	---

2-2-(3)

子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。

【判断基準】

- (a) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助している。
- (b) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるように援助しているが、十分ではない。
- (c) 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取り組めるような援助を行っていない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	子どもたち同士で折り合いをつけ、遊びの誘い合い、遊びを通して関係を築くことができるよう、職員が援助している。 中高生対応については、中高生の好きな活動や勉強ができる環境を整えている。
--	--

2－2－(4)

遊びによる子どもの育成について

良いと思う点	改善が必要だと思う点
様々な遊びや行事の中で、子どもたちの気持ちに寄り添い、その思いを実現することができている。	11月の子ども会議で出た意見を、実現につなげていく。子どもたちが発信したこと遊びにつなげ、図書室や音楽室の運営を盛り上げていく。 (例：マンカラ大会、ふれあいまつりの再現遊びで様々な子どもたちが関わるなど)

2－3　児童館の安全管理

2－3－(1)

緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。

【判断基準】

- (a) 利用者の安全確保のために、体制が整備され機能している。
- (b) 利用者の安全確保のために、体制が整備されているが、十分に機能していない。
- (c) 利用者の安全確保のために、体制が整備されていない。

【自己評価】

実践例（取り組みや記録等）

<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	災害初期対応マニュアルに基づき、月に一回避難訓練を実施している。地震・火災・不審者・水害・消火器訓練と様々な状況を想定して実施している。訓練実施後は職員間で振り返りを行い、いざという時に迅速に対応できるように努めている。ヒヤリハット事例の共有や事故後の再発防止策の徹底をしている。
--	--

2－3－(2)

利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。

【判断基準】

(a) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集し、要員分析と対応策の検討を行い実行している。	
(b) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集しているが、要員分析と対応策の検討が十分でない。	
(c) 利用者の安全を脅かす事例を組織として収集していない。	
【自己評価】	実践例（取り組みや記録等）
<input checked="" type="checkbox"/> a)、 <input type="checkbox"/> b)、 <input type="checkbox"/> c)	<p>毎月施設点検を行い、職員間で共有している。破損個所については、その都度職員間で共有し、住区センター職員へ報告、南部地区サービス事務所へ修繕の要望をしている。また、玩具に不具合があった場合には、職員間で共有し、新しいものに替えるなどの対応をしている。</p> <p>来館した子どもが帰宅する際に、家の鍵を持っていない、保護者が留守にしているなどということがある時は子どもの話をよく聞き、必要に応じて保護者へ連絡を取る対応をしている。また、台風などの気象状況や不審者などにより、ひとりで帰宅させるのが危ないと判断する時は、保護者に連絡をして子どもが児童館で職員と待つなどの対応を行い、子どもが安全に帰宅できるようにしている。</p>